

## 新しい理学博士の諸君の門出に寄せて

理学系研究科 委員長

藤 田 宏

この度、理学博士の学位を得られた皆さん、おめでとう。理学のそれぞれの専門において研鑽を積み立派な学位論文を完成された皆さんの努力に対し敬意を表しつつ、理学系研究科の教官一同を代表して心から祝福致します。

恒例により、このおめでたい機会に理学系研究科委員長として新理学博士の皆さんの門出を祝う言葉を申し述べる次第です。

私は、次の三つの事柄を皆さんにお願いして祝辞に代えさせて頂きたいと思います。

その第一は、今日の栄えある日に皆さんが感じておられる理学者としての

誇りと志し

を末永く持ち続けて頂きたいと言う願いです。皆さんが東京大学から取得された理学博士の学位は世界で最も尊敬尊重される学位の一つです。海外に出かけて共同研究、あるいは、他流試合の機会をもたれたとき、このことに思い当たられるに相違ありません。皆さんは間違いなく一人前の学者として遇せられます。このような国際的に高い評価は、先輩達の精励の賜ですが、皆さんも自信を持って理学の先端を競い合う国際競争の場に出陣して下さい。

また、皆さんは、それぞれの専門での学問的成功を目指してこの道に入ってこられたに違いあり

ません。一世を風靡する学説を編み歴史に残る大家たらんと野心に燃えている人もいるでしょうし、また一方では、地道な専門で好學の操を保ち、学界の一隅を照らす光たらんと決心している人もいるでしょう。いずれも佳きかな。理学者として良いスタートを切った皆さんの前途は洋々です。しかしながら、研究者の人生は平坦ではありません。疲労、停滞、そうして挫折は誰にでも起こります。そのようなとき、今日の高揚した気持ちを糧とし、あるいは、今日新たにした初心に戻り、元気を回復して理学者としての志操を高く持ち続けて下さい。

お願いの第二は、学問において、

良い成就是次の課題を提出

するものであることを理解して頂くことです。良い完成は次への出発です。理学博士にふさわしい仕事を成就して学位を得られた皆さんは、このことを実感しておられるに違いありません。これから始まる研究者としてのキャリアにおいて、さらなる発展につながる独創的な仕事を数多く成し遂げて行かれることを祈ります。

最後をお願いしたいことは、自然を相手とする理学は妥協を許さない厳しい学問ではありますが、それを遂行する

理学者は極めて人間的な存在

であることに留意して頂くことです。理学の研究に於て、日常的には職人的な集中・腕の良さも大切ですが、正念場での困難を突破する画期的な進歩は、研究者がその仕事への感激と情熱を持ち続けているかどうかに懸かります。

私が専門とする数学では、各国の学派の特徴に明らかにそれぞれの民族性と国情が浮き出しています。おそらく、これはどの専門についても、さらに、個人についても同じだと思います。すなわち、理学者の業績を見ると、個々の論文ではそれほど認められなくても、長期に亘る研究の流れには、研究者の個性や品格が反映しているものです。

また、当然ながら、最近の理学の研究遂行に欠くことのできない研究者どうしの協力・交流は、近い仲間のそれであれ、国際的なこれであれ、人間的な信頼と友情に基礎をおくものです。

すでに確立した研究者としてのスタートをきられた皆さんに対しては、老婆心に過ぎたお説教をしたようです。皆さんの理学者としての多幸な前途を祈る気持ちから出たものですから許して下さい。

本日はおめでとう。健康に気をつけて頑張ってください。

(平成元年3月29日学位証授与式)